

# 全国学力・学習状況調査などの結果を生かした学力対策

平成26年度全国学力・学習状況調査(以下、「全国調査」)の「教科に関する調査」結果については、広報おおむら12月号でお知らせしました。今回は、その結果を生かした市の取り組みをお知らせします。

## 学力対策推進会議の取り組み

学力対策担当者が、夏季休業中に課題改善に取り組むため会議を行いました。そこで話し合われた授業展開を、9月から12月まで各校の授業で実践しました。更に12月には、市内すべての小学5年生・中学2年生(英語科は全学年)が検証問題に取り組みました。今後、これまで実践したこと検証と改善策を展開していきます。



## ☆検証問題の結果(小学5年生)

国語		前回	平成26年12月
1	資料をもとに必要な情報を読み取り、適切な言葉を選ぶ	38.0%	74.9%
2	目的に応じて必要な情報を取り出し、条件に合わせて自分の考えを書く	31.3%	63.1%

算数		前回	平成26年12月
1	単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解すること	48.0%	61.2%
2	場面と図(数直線)を関連付けて、二つの数量の関係を理解すること	68.2%	85.1%

※ともに、過去の同型の問題と比較すると改善されています。

## ☆学力対策の流れ

学校で子どもたちの学力面の課題を洗い出し、日々の授業の中で改善するよう指導をくり返しています。

小5	4月～	・県学力調査などで実態把握 ・改善策実行
	12月～	・検証問題で検証 ・改善策修正・実行

## 研究指定校での学力対策の取り組み

市では、日々の指導方法の工夫・改善や教材開発などを行いながら、各校の学力向上に取り組むために、研究校を指定しています。

各研究校は、その研究の成果を市内外に公開することで、小学校の教職員の指導力を向上させるために役立っています。今年度は、小学校2校、中学校1校の研究発表会が実施され、市内外から多くの教職員が参加し、指導方法などを協議しました。

### 【平成26年度研究発表校】

- ・中央小学校(算数科)
- ・竹松小学校(算数科)
- ・萱瀬中学校(全教科)

### 【平成27年度研究発表予定校】

- ・黒木小学校(全教科)
- ・福重小学校(国語科)
- ・大村中学校(全教科)
- ・玖島中学校(全教科)

## ～学習状況調査の結果から～

全国調査では、児童・生徒の学習意欲・方法・環境・生活のさまざまな側面から、質問紙調査も実施されます。詳しい結果は、市ホームページをご覧ください。

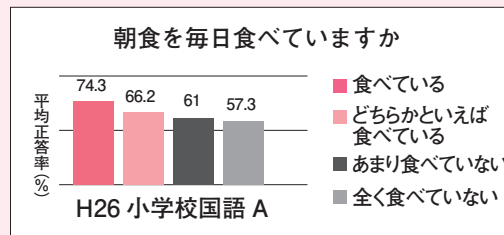
### 【質問紙調査】(一部抜粋)

質問項目	小学6年生		中学3年生	
	本市	全国	本市	全国
毎日朝食を食べている	89.4%	88.1%	95.1%	93.5%
テレビゲームを2時間以上使用する	22.3%	30.3%	33.1%	35.4%

テレビゲームの使用状況は、全国平均を下回る状態が継続しており、家庭で約束づくりなどがうまく行われているようです。

右表は、平成26年度全国調査の結果をもとに、朝食を食べる習慣と、小学校国語A問題全国平均正答率の相関を表したグラフです。

このグラフから、基本的な生活・学習習慣は学力面に大きく影響します。各家庭でも役割を再度確認のうえ、学校と協働してお子さんの学力の向上、よりよい生活習慣の確立に向けた取り組みをお願いします。



\*朝食を「毎日食べている」と回答した児童は、国語A問題で平均74.3%の正答率があり、「全く食べていない」と回答した児童は平均57.3%の正答率だったことを示しています。

■学校教育課(内線388)